

ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

発行者 社会福祉法人 神戸婦人同友会 子供の家
〒651-0014 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3
tel 06 6491 8953 fax 06 6498 3444
支援センター (tel, fax) 06-6491-1811
E-mail (子供の家) info@kocomono-ie.org
(支援センター) candy@kocomono-ie.org
URL http://www.kocomono-in.org

第31号 平成15年8月1日 発行



阪神タイガースの矢野選手が招待してくれました。

絶対調の阪神タイガースですが、毎年恒例になった「矢野シート」に招待されました。これは、毎年この時期にタイガースの名捕手でもある矢野選手が招待してくれるものです。今年も、首位独走状態でチケットの入手が困難なので嬉しさも倍増でした。阪神ファンの子どもたちだけでなく職員にもファンは多く楽しく過ごしました。試合も見事に阪神が勝利してくれました。優勝は間違いないとは思っていますが、阪神ファンはなかなか安心はできない状況です。今年も、近鉄と阪神が日本シリーズを戦ってくれば関西は盛り上がり日本の経済も上昇してくれば良いですね。

速報・タッチラグビークラブ「リトルキウイズ」が関西大会連覇



リトルキウイズが関西大会二連覇を達成しました。今年も、予選リーグを3戦全勝で一位通過し、決勝トーナメントではKウオンバットに快勝し決勝は昨年同じカード関西外国語大学との対戦でした。関西外国語大学に対しては未だ無敗とあって試合運びも順調で結果七対二で快勝し見事優勝し連覇を達成しました。現在、四大大会連続で優勝しており、子どもたちは是非今年も全国大会に行きたいと言っています。

近畿児童養護施設協議会 特別委員会の提言

国の社会保障審議会に専門部会が設けられさらに「社会的養護のあり方に関する専門委員会」が設置されたのを受けて近畿児童養護施設協議会（近養協）が特別委員会を設置し施設現場実践者という立場で意見提言をするということで、検討していました。兵庫県の代表として子供の家の職員も委員として参加しました。提案として、施設養護と家庭養護の協働や職員体制の強化、資格の社会的な位置付けの向上、乳児院、児童養護施設間での弾力的な子どもを受け止め、児童家庭支援センターを地域における「相談・援助の専門機関」として位置付ける、アフターケアの制度化等の案がまとめられました。虐待の問題が社会で注目されている現在、児童養護施設も大きな転換期を迎えており、これらの提案が配慮されれば児童養護の分野も向上するのではないかと思えます。



障害者ダイビングのサービスに

スタッフとして参加します。

高校三年生になるAくんですが、毎年、和歌山県串本町のスキューバダイビングサービスにスタッフとして参加します。今年で三度目となります。

このサービスは障害者を広く受け入れておりその経験からか、来春は福祉系の大学へ進学したいという希望をもっています。

いろいろなることを吸収できる夏にしてほしいと思っています。

子供の家八月の予定

子どもの行事

- 一日 子ども会映画会
- 一〇二日 低学年キャンプ
- 三日 英知大学で花火鑑賞
- 五日・六日 人形劇・紙芝居
- 六〇九日 わくチャレキャンプ
- 九日 盆踊り大会
- 十七〇十八日 レオキャンプ
- 十八〇二二日 口ポットを作ろう
- 二三日 夏祭り
- 二六〇二七日 中学年キャンプ
- 二八〇二九日 幼児キャンプ

職員研修

- 一日 SEWAセミナー
- 七日 尼崎地区虐待防止連絡会

夏のお勧めの場所「奄美大島」

夏といえば「海」をイメージする方も多いのではないだろうか。奄美大島はとても素敵な「海」があります。

奄美は鹿児島県と沖縄県の間にある島で、沖縄の文化も入っています。

奄美では主として自然探索が面白いと思います。スキューバダイビングやシーカヤック等の海洋スポーツは大自然を満喫できます。

また、食べ物では「鶏飯」という「だしをいれた食べるお茶漬けのようなもの」は絶品です。また、黒糖焼酎もおいしいですよ。

機会を見つけて是非一度行って頂きたい場所です。(左の写真は今年奄美で撮影したものです)



セミの異常多発の年

子供の家には夏みかんの木があります。そこはセミの幼虫たちがたくさんいるようで、毎年たくさんセミたちが出できます。ある日、何気なく見ているとセミの抜け殻ではなくものが見えます。「仮面ライダー」に似た顔やまだ飛べそうな羽もあり、まさに羽化している最中でした。それもたくさん抜け殻の所で。とても珍しいと思いい写真に収めました。(左の写真)

少し見づらいいとは思いますが、よくみていただくと分かると思います。梅雨期が長引き多雨だったせいか異常なほどの一斉羽化となっている様です。



編集後記

夏休みになり、子どもたちが昼間も施設にいます。

学校関係で働いている人たちはほとんどしていることと思いますが、児童養護施設の職員は夏は大変忙しい時です。キャンプや夏の行事が多く入り、普段より子どもたちとかかわる時間が増えます。

今年度からフロアー単位の勤務体制を開始し、担当者子どもたちが一緒に過ごす時間が増えました。何か共感できることを残す夏休みにしたいと思います。

九月号は夏の行事を特集した内容にしようと思っています。

